

私たちの公共交通

室蘭線の維持・利用促進に向けて

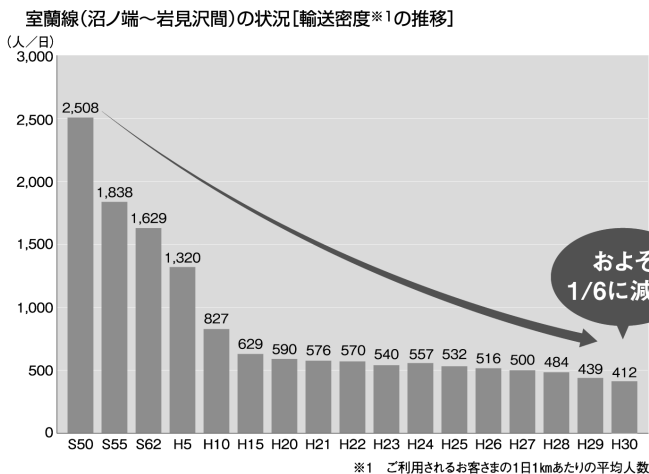
問合せ 地域推進課地域推進グループ ☎②97083

安平町に4駅を有し、まちの中心を走る鉄道「室蘭線」。JR北海道は、平成28年11月、この室蘭線（沼ノ端～岩見沢間の67km）の線区を「JR単独では維持することが困難な線区」の一つとして発表しました。

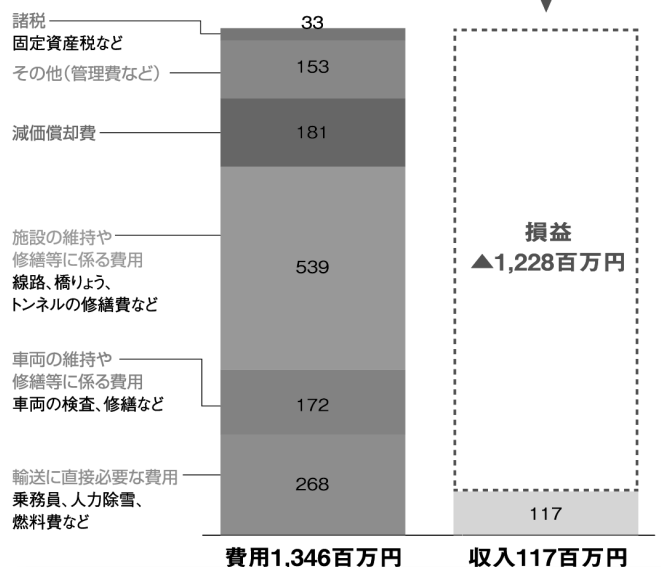
室蘭線は、主に通学や通院など日常生活の足として利用されていますが、沿線人口の減少や少子高齢化、自家用車の普及などにより、利用者の数は昭和50年度に比べて約6分の1まで減少している状況です。

JR北海道及び室蘭線沿線の市町では、室蘭線の維持・利用促進に向けて各種取り組みを進めていますが、沿線住民の私たちは、改めて室蘭線の厳しい状況を知ると同時に、子どもたちの進学先への影響や住みよいまちづくりの根幹を揺るがす大きな問題が生じていることを強く認識し、これまで以上に「鉄道の利用・活用」について行動を起こしていく必要があります。北海道の鉄道ネットワーク・ワーキングチームフォローアップ会議座長などを務める北海道大学の岸准教授は、「道民500万人が一人あと4,000円鉄道を利用することでJR北海道の赤字は解消される」と提唱しています。

室蘭線をはじめとする元気な公共交通の実現に向け、考え、行動してみませんか？



2018(平成30)年度 室蘭線収支状況



みんなで乗れば、
未来が変わる。
考えよう、行動しよう。公共交通の未来。

道民自らが「乗る！」

仕事やレジャーなどにおける、鉄道やバスなどの公共交通機関の利用を図る。

道外・海外から「利用者呼び込む！」

鉄道を活かした魅力ある観光地づくりや、情報発信、誘客活動などを行う。

鉄道の維持や魅力向上のため「行動する！」

駅や車両の魅力向上など、様々な取組を通じて、鉄道に対する応援活動を行う。

(北海道鉄道活性化協議会が提唱する「道民運動」のイメージより)



室蘭線の取り組み

地道な取り組みが鉄道・公共交通への関心を高めることにつながります



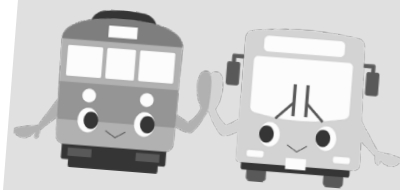
菜の花さんぽ 2019
鉄道×菜の花×道の駅

実行委員会とJR北海道とがタイアップし、菜の花畑など約13kmを歩くフットパス事業が開催され、町外から約600人もの方が鉄道に乗って参加しました。3つの地域資源が融合して生まれた好事例の一つです。



鉄道利用者に「あびら夏！うまか祭り」で使用できるクーポンをプレゼント

あびら夏！うまかまつりに合わせ、室蘭線を利用した来場者限定で、まつり会場で使えるクーポン券を早来駅にて配布し、利用促進を図りました。(実績186人)



鉄道とバスなどの連携
総合時刻表・路線図の発行

安平町では、鉄道のみならず、町内を運行するバス、デマンドバスなどの時刻や路線を一覧できる時刻表を発行。乗り方ガイドや自身で書き込める「私の時刻表」も掲載。賢く上手な交通の組合せを啓発しています。



追分小学校の修学旅行で
室蘭線を利用

追分小学校の修学旅行は、例年、追分からバスで苫小牧まで行き、そこから列車を利用していましたが、令和元年は追分～苫小牧間も列車を利用しました。JR北海道では、その感謝と楽しい旅行となるよう思いを込めて駅員が横断幕を掲げて見送りをしました。



Facebookによる利用促進

役場職員のノーマイカー運動（通勤・出張）

駅の環境美化・花壇整備など

早来駅では早来婦人会（写真左）が、追分駅ではさくら草（写真右）が、それぞれ永年にわたり清掃や花壇整備などの環境美化活動を行っています。

令和元年10月3日には、そうした活動に対してJR北海道から感謝状が贈られました。私たちの大切な駅、綺麗な駅づくりに貢献してくださっています。



駅を中心としたまちづくり
・活動の検討

これまで以上に皆さんによる利用と活用が必要です

